問題 03-01　AD170155　AD200155　□□□□

ISO 9001:2000 の認定に関する記述のうち、適切なものはどれか

ア　1 回認定されると、資格は半永久的に有効である
イ　サービス産業を含まず、製造業を対象に認定する
ウ　認定をする審査登録機関は、1 国につき 1 機関である
エ　“品質マネジメントシステムの国際規格要求事項を満たす組織”を認定する

問題 03-02　AD200177　□□□□

プログラムの著作物について、著作権法上適法である行為はどれか。

ア　海賊版を複製したプログラムと事前に知りながら、業務で使用した。
イ　業務処理用に購入したプログラムを複製し、社内教育用として各部門に配布した。
ウ　職務著作のプログラムを、作成した担当者が独断で複製し協力会社に貸与した。
エ　処理速度を向上するなど、効果的利用のためにプログラムの改変を行った。

問題 03-03　AD170179　AD200178　□□□□

派遣契約に基づいて就労している派遣社員に対する派遣先企業の対応のうち、適切なものはどれか。ここで、特別な就業規則の契約は行っていないものとする

ア　営業情報システムのメンテナンスを担当させている派遣社員から、直接に有給休暇の申請があり、業務に差し障りがないと判断して、承認した
イ　グループウェアのメンテナンスを行うために、自社社員と同様に作業を直接指示した
ウ　生産管理システムのデータ入力を指示したところ、入力ミスによって、欠陥製品ができたので、派遣元企業に対して製造物責任を追及した
エ　販売管理システムのデータ処理が定時に終了しなかったので、自社社員と同様の残業を行うよう指示した

問題 03-04　AD200179　□□□□

ボリュームライセンス契約を説明したものはどれか。

ア　企業などソフトウェアの大量購入者向けに、マスタを提供して、インストールできる許諾数をあらかじめ取り決める契約
イ　使用場所を限定した契約であり、特定の施設の中であれば台数や人数に制限なく使用が許される契約
ウ　ソフトウェアをインターネットからダウンロードしたとき画面に表示される契約内容に同意すると指定することで、使用が許される契約
エ　標準の仕様許諾条件を定め、その範囲で一定量のパッケージの包装を解いたときに、権利者と購入者との間に使用許諾契約が自動的に成立したとみなす契約

問題 03-05　AD200180　□□□□

e - 文書法を説明したものはどれか。

ア　Web サイトの掲示板に個人のプライバシを侵害する書込みがあった場合などの事例に対し、プロバイダや掲示板の運営者の責任範囲を定めたもの
イ　各種法令によって保存が義務付けられている文書について、電子化された文書ファイルでの保存を可能とするもの
ウ　商取引に関する情報を標準的な書式で統一して、企業間で電子的に交換するために必要な規約をまとめたもの

エ　電子署名とその認証に関する規約を定め、電子署名が手書き署名や押印と同様に通用する法的基盤を整備し、情報流通の促進を目的としたもの

問題 03-06　AD200250　□□□□

“コンピュータ不正アクセス対策基準”に規定されている利用者 ID に関する記述のうち、適切なものはどれか。

ア　同一部署内の同じ権限が設定されている利用者は、同一の利用者 ID を使用する。
イ　複数の利用者 ID をもつ利用者は、すべての利用者 ID に対して同じパスワードを設定し、一定期間ごとに変更する。
ウ　利用者 ID の登録抹消は、廃止の届出を受理後、誤って抹消することを防ぐため 1 週間経過後に行う。
エ　利用者 ID を設定する場合は、権限を必要最小限のものにし、その利用者 ID を登録する対象機器も限定する。

問題 03-07　AD180254　AD20255　□□□□

個人情報の取扱いについて、財団法人日本情報処理開発協会が運営し、適切な保護措置を講ずる体制を整備し運用している事業者を認定する制度はどれか

ア　Online Shopping Trust マーク制度
イ　TRUSTe プログラム
ウ　プライバシーシールプログラム
エ　プライバシーマーク制度

問題 03-08　AD200277　□□□□

著作権法による保護の対象となるものはどれか。

ア　ソースプログラムそのもの
イ　データ通信のプロトコル
ウ　プログラムに組み込まれたアイディア
エ　プログラムのアルゴリズム

問題 03-09　AD200278　□□□□

不正競争防止法における営業秘密に該当するものはどれか。

ア　会社役員の個人的なスキャンダル情報
イ　“厳秘”の表示をして、広く社内に回覧されている開発中の技術情報
ウ　“社外秘”の表示をして、施錠したロッカーに保管され、公然とは知られていない生産方式に関する情報
エ　当該企業の商品を効果的に販売するための方法が記述された市販書籍

問題 03-10　AD200279　□□□□

労働者派遣における派遣元の責任はどれか。

ア　派遣先での時間外労働に関する法令上の届出
イ　派遣労働者に指示する業務遂行状況の管理
ウ　派遣労働者の業務遂行に必要となる物資の調達
エ　派遣労働者への休日、休憩時間の適切な付与

問題 03-11　AD210154　□□□□

“コンピュータ不正アクセス対策基準”に適合しているものはどれか。

ア　監視効率を向上させるためにすべてのネットワークを相互接続する。
イ　業務上必要な場合は、利用者 ID を個人間で共有して使用できる。
ウ　システム管理者が、すべての権限をもつ利用者 ID を常に使用できる。
エ　組織のセキュリティ方針を文書化し、定期的に研修を開催する。

問題 03-12　AD190255　AD210155　□□□□

JIS Q 9001（ISO9001）に基づく品質マネジメントシステムの運用に関する記述のうち、適切なものはどれか。

ア　組織内に幾つかの活動があり、活動内容が部門によって異なっても、品質目標は統一して定めることが品質確保に効果的である。
イ　品質マニュアルが現実に守られないケースが多く発生した場合でも、一定期間継続してそのマニュアルを使用する。
ウ　品質マネジメントシステムは国際規格に準じて構築されるので、プロセスの実施状況にかかわらず現状の品質マネジメントシステムの運用を継続すべきである。
エ　よく吟味されて作成された品質マネジメントシステムでも、運用段階で不都合があった場合は、正規の手続きを経て変更する。

問題 03-13　AD210163　□□□□

企業経営における、コンプライアンス強化の目的はどれか。

ア　企業存続の危機につながりかねない、経営者や従業員による不祥事の発生を抑制する。
イ　競合他社に対する差別化の源泉となる経営資源を保有し、競争力を強化する。
ウ　経営者の権力行使をけん制し、健全な経営を行うことができる仕組みを作る。
エ　顧客、株主、従業員などの利害関係者の満足度を向上させ、企業の継続した発展を図る。

問題 03-14　AD210177　□□□□

特許権を説明したものはどれか。

ア　産業上利用することができる新規の発明を独占的・排他的に利用できる権利であり、所轄の官庁への出願及び審査に基づいて付与される権利
イ　事業者が自己の商品を他人の商品と識別するために商品について使用する標識を、独占的・排他的に使用できる権利
ウ　新規の美術・工芸・工業製品などで、その形・色・模様・配置などについて加える装飾上の工夫を、独占的・排他的に使用できる権利
エ　文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属する著作物を、その著作者が独占的・排他的に支配して利益を受ける権利

問題 03-15　AD140278　AD210178　□□□□

フリーソフトウェアに関する記述として、適切なものはどれか

ア　金銭的な諸権利と著作権を放棄したソフトウェア
イ　定められた無料試用期間の後、継続して利用する場合は、所定の金額を開発者に支払う方式のソフトウェア
ウ　複数のコンピュータにインストールすることを許可した市販のソフトウェア
エ　ライセンスに従って、内容の変更、コピー及び配布が自由にできる無償のソフトウェア

問題 03-16　AD130280　AD210179　□□□□

法人で PC100 台分のソフトウェア X のライセンスを購入し、ライセンス分のインストールを実施した。使用許諾契約を遵守しているものはどれか。

ア　PC10 台を他部署へ移動させたが、ディスク内のソフトウェア X は消去せず、移動先でそのまま使用した。
イ　新規に PC10 台を購入し、ソフトウェア X をインストールしたが、ライセンスの追加購入はしなかった。
ウ　ソフトウェア X が販売停止となったので、ライセンス使用状況の管理を中止し、自由にインストールできるようにした。
エ　ソフトウェア X をインストールした PC の台数ではなく、同時に利用している台数が、購入したライセンス数を超えないようにした。

問題 03-17　AD180279　AD210180　□□□□

個人情報保護法の定める個人情報に該当しないものはどれか

ア　営業担当者が保有している個人見込客リスト
イ　顧客のアンケート結果を統計処理し、年齢別に集約したデータ
ウ　索引付きのファイルを用いて、手作業で管理されている名刺
エ　従業員の人事考課情報

問題 03-18　IP210101　□□□□

コンプライアンス経営を説明したものはどれか。

ア　株主に対して企業活動の正当性を保持するために、経営管理が適切に行われているかどうかを監視し、点検する。
イ　株主やそのほかの利害関係者に対して、経営活動の内容、実績に関する説明責任を負う。
ウ　企業倫理に基づき、ルール、マニュアル、チェックシステムなどを整備し、法令や社会規範を遵守した企業活動を行う。
エ　投資家やアナリストに対して、投資判断に必要な正確な経営情報を適時に、かつ継続して提供する。

問題 03-19　IP210109　□□□□

不正競争防止法の営業秘密に該当するものはどれか。

ア　インターネットで公開されている技術情報を印刷し、部外秘と表示してファイリングした資料
イ　限定された社員の管理下にあり、施錠した書庫に保管している、自社に関する不正取引の記録
ウ　社外秘としての管理の有無にかかわらず、秘密保持義務を含んだ就業規則に従って勤務する社員が取り扱う書類
エ　秘密保持契約を締結した下請け業者に対し、部外秘と表示して開示したシステム設計書

問題 03-20　IP210115　□□□□

知的財産権のうち、権利の発生のために申請や登録の手続きを必要としないものはどれか。

ア　意匠権　　イ　実用新案権　　ウ　著作権　　エ　特許権

問題 03-21　IP210124　□□□□

不正アクセス禁止法において違法となる行為はどれか。

ア　インターネット通信販売の広告において、事業者氏名などの表示義務を怠った。
イ　音楽用 CD を、無断で複製し販売した。

ウ　個人情報を含む名簿を、無断で名簿業者などに販売した。
エ　他人の ID を無断で使用して、インターネットオークションに出品や入札をした。

問題 03-22　IP220125　□□□□

著作者の了解を得ないで次の行為を行った場合、著作権法に照らして適法な行為はどれか。

ア　購入した CD の楽曲を自分の PC にコピーし、PC で毎日聴いている。
イ　購入した CD の楽曲を自分のホームページからダウンロードできるようにしている。
ウ　自社製品に関する記事が掲載された雑誌のコピーを顧客に配布している。
エ　録画したテレビドラマを動画共有サイトにアップロードしている。

問題 03-23　IP220130　□□□□

不正アクセス禁止法が禁じている行為はどれか。

ア　公序良俗に反する画像などを、自分の日記と一緒にブログ上で公開すること
イ　大量の電子メールを送信し、他人のメールサーバに障害を起こさせること
ウ　他人の著作物を、出所などを明示せずに自分のホームページで利用すること
エ　パスワードを使って保護されているサーバに、ネットワーク経由で他人の ID とパスワードを使ってログインすること

問題 03-24　IP210151　□□□□

ソフトウェア開発を請負契約で外部委託するときに、発注側が行わなければならないことはどれか。

ア　契約前の作業着手の指示
イ　作業者名簿の提出の要求
ウ　作業場所や使用するコンピュータの手配
エ　成果物一覧や納期の提示

問題 03-25　IP210252　□□□□

システム開発を外部に委託する場合に行う管理方法として、適切なものはどれか。

ア　委託形態にかかわらず、開発作業の管理責任やリスクはすべて発注元が負うので、発注元が委託先の従業員に直接指示を出す。
イ　一括請負であっても、開発プロジェクトのほかの一部を発注元が分担している場合は、発注元が委託先の従業員に直接指示を出す。
ウ　一括請負の場合は、成果物を納入するまでの過程については、すべて委託先の責任とリスクで作業を実施するので、発注元が委託先の従業員に直接指示は出さない。
エ　人材派遣を受け入れた場合は、派遣者が担当する開発作業のリスクは、派遣元の会社が負うので、発注元が派遣者に直接指示は出さない。

問題 03-26　IP210211　□□□□

インターネットなどのネットワークを介してコンピュータを利用する場合において、不正アクセス禁止法で禁止されている行為はどれか。

ア　他人の ID とパスワードを、本人の許可なく、その利用方法を知っている第三者に教えること

イ　他人の PC 操作を盗み見るなどして、他人の ID とパスワードを入手すること
ウ　本人の了解を得ることなく、他人のメールアドレスを第三者に教えること
エ　本人の了解を得ることなく、不正に他人のメールアドレスを入手すること

問題 03-27　IP210221　□□□□

新製品の開発に当たって生み出される様々な成果のうち、著作権法による保護の対象となるものはどれか。

ア　機能を実現するために考え出された独創的な発明
イ　機能を実現するために必要なソフトウェアとして作成されたプログラム
ウ　新製品の形状、模様、色彩など、斬新な発想で創作されたデザイン
エ　新製品発表に向けて考え出された新製品のトレードマーク

問題 03-28　IP210223　□□□□

労働基準法において、時間外および休日の労働を認めるために既定されていることはどれか。

ア　会社の就業規則が作成されていること
イ　本人の労働意思が個別に確認されていること
ウ　労使の協定を書面で締結し、行政官庁に届け出ること
エ　割増賃金について、支給細目が決まっていること

問題 03-29　IP220107　□□□□

コンピュータを活用した新しいビジネスモデルを構築した。このビジネスモデルを保護する法律はどれか。

ア　意匠法　　イ　商標法　　ウ　著作権法　　エ　特許法

問題 03-30　IP220201　□□□□

電子メールの送信例のうち、受信者への配慮の観点から、最も適切なものはどれか。

ア　会員から抽出した 100 名のアドレスを一度にあて先（To）に入れて、会員満足度調査のアンケートを電子メールで送った。
イ　自社製品を紹介する大容量の資料を、圧縮せずに電子メールに添付して得意先に送った。
ウ　製品の質問メールへの回答で、その内容を知ってもらいたい複数の顧客のアドレスを Cc に入れて返信した。
エ　特別企画のホームページの URL を特定の限られた顧客に知らせるために、アドレスを Bcc に入れて送信した。

問題 03-31　IP220210　□□□□

A 社では、自社で働いている派遣会社 B 社からの派遣社員の就業管理用に、B 社の Web 版の派遣社員就業管理システムをインターネット経由で使用している。このシステムを用いた当該派遣社員の日常の就業時間の承認者として、最も適切な者はどれか。

ア　派遣先 A 社のシステム管理者　　イ　派遣先 A 社の業務責任者
ウ　派遣元 B 社のシステム管理者　　エ　派遣元 B 社の管理責任者

問題 03-32　IP220212　□□□□

意匠法における意匠の説明として、最も適切なものはどれか。

ア　自然法則を利用した技術的思想に基づいて発明したもの
イ　思想又は感情を文章や音、絵などで創造的に表現したもの
ウ　文字や図形、記号、立体的形状などで表した商品のマーク
エ　物の形状や模様、色彩などで表した商品のデザイン

問題 03-33　IP220213　□□□□

JIS Q 9000 では、品質とは“本来備わっている特性の集まりが、要求事項を満たす程度”と定義されている。この定義に基づいて評価した時、品質の良い製品として、最も適切なものはどれか。

ア　クレームが少なく顧客満足度が高い製品
イ　製造を外部に委託せず自社で生産している製品
ウ　設計や製造に CAD/CAM を導入している製品
エ　良質の材料や部品を利用している製品

問題 03-34　IP220228　□□□□

別段の取り決めがない請負契約の場合、民法に基づき、当事者である注文者又は請負人に課せられている義務のうち、適切なものはどれか。

ア　請負人は、請け負った仕事を完成させる。
イ　請負人は、請け負ったすべての仕事を自ら行う。
ウ　請負人は、仕事の完成後、その仕事に起因して発生した欠陥に対して恒久的に責任を負う。
エ　注文者は、仕事にかかる費用を請負人に前払いする。

問題 03-35　IP220232　□□□□

CD-ROM に記録された PC のソフトウェアパッケージを購入することによって、購入者に帰属する権利はどれか。

ア　CD-ROM に記録されたプログラムの使用権
イ　CD-ROM に記録されたプログラムの著作権
ウ　プログラムの記録された CD-ROM の意匠権
エ　プログラムの記録された CD-ROM の著作権

問題 03-36　IP230101　□□□□

コンピュータプログラムの開発や作成に関する行為のうち、著作権侵害になるものはどれか。

ア　インターネットからダウンロードした HTML のソースを流用して、別の Web ページを作成した。
イ　インターネットの掲示板で議論されていたアイディアを基にプログラムを作成した。
ウ　学生のころに自分が作成したプログラムを使い、会社業務の作業効率を向上させるためのプログラムを作成した。
エ　購入した書籍に掲載されていた流れ図を基にプログラムを作成した。

問題 03-37　IP230102　□□□□

労働者派遣に関する記述のうち、適切なものはどれか。

ア　派遣先企業には派遣労働者からの苦情処理に当たることは認められていない。
イ　派遣された労働者を別会社へ再派遣することは認められていない。
ウ　派遣労働者の就業場所の変更を伴う配置転換は、派遣先企業に認められている。

エ　派遣労働者への指揮命令権は派遣先企業に認められている。

問題 03-38　IP230120　□□□□

不正競争防止法の不正競争に該当するものはどれか。

ア　競争関係にある他社の信用の低下につながる、反社会的な行為を公表した。
イ　自社で使っているドメイン名が、偶然他社のドメイン名と類似していた。
ウ　新聞に掲載されていた掃除用具開発の着想を参考にして、オリジナルな文房具を開発した。
エ　取引先から入手した情報が他社の営業秘密に当たるものであることを知っていながら、自社で使用した。

問題 03-39　IP230130　□□□□

プライバシーマークを取得している事業者が、個人情報保護に関する理念や取組みを内外に宣言する文書はどれか。

ア　個人情報保護ガイドライン　　イ　個人情報保護規程
ウ　個人情報保護方針　　エ　個人情報保護マニュアル

問題 03-40　IP230132　□□□□

不正アクセス禁止法で禁止されている行為はどれか。

ア　インターネットのオークションサイトで架空の商品を販売し、落札者から現金をだまし取った。
イ　他人のブログに誹謗中傷を大量に書き込んだ。
ウ　他人の利用者 ID とパスワードを無断で使用して、他人の電子メールを閲覧した。
エ　不正にコピーして作成した海賊版の音楽 CD を販売した。

問題 03-41　IP230204　□□□□

コンピュータプログラムに関する著作権の説明として、最も適切なものはどれか。

ア　改変が認められているフリーソフトウェアを改変した場合､改変部分も含めてその著作権は､別段の定めがない限り、元のフリーソフトウェアの著作者だけに帰属する。
イ　外部のソフトウェアハウスに委託して開発したプログラムの著作権は、別段の定めがない限り、委託元の会社に帰属する。
ウ　派遣社員が派遣先で、業務上、作成したプログラムの著作権は、別段の定めがない限り、派遣元の会社に帰属する。
エ　法人の発意に基づき、その法人の従業員が職務上作成するプログラムの著作権は、別段の定めがない限り、その法人が著作者となる。

問題 03-42　IP230210　□□□□

自社の保有する特許の活用方法の一つとしてクロスライセンスがある。クロスライセンスにおける特許の実施策に関する説明として、適切なものはどれか。

ア　許諾した相手に、特許の独占的な実施権を与える。
イ　特許の実施権を許諾された相手がさらに第三者に実施許諾を与える。
ウ　特許を有する 2 社の間で、互いの有する特許の実施権を許諾し合う。
エ　複数の企業が、有する特許を 1 か所に集中管理し、そこから特許を有していない企業も含めて参加する企業に実施権を与える。

問題 03-43　IP230215　□□□□

標準化規格とその対象分野の組合せのうち、適切なものはどれか。

	IEEE802.3	ISO9001	ISO14001
ア	LAN	環境マネジメント	品質マネジメント
イ	LAN	品質マネジメント	環境マネジメント
ウ	環境マネジメント	LAN	品質マネジメント
エ	環境マネジメント	品質マネジメント	LAN

問題 03-44　IP230218　□□□□

製造物責任法によって責任を問われるのはどのケースか。

ア　再販売価格を維持することを条件に小売店に製品を販売した。
イ　実際にはない機能を持っていると誤解される広告をして製品を販売した。
ウ　取扱説明書に従った使い方をしていても過熱してやでどするなどの危険がある製品を販売した。
エ　兵器として転用可能な製品を担当省庁の許可なしにテロ支援の懸念がある国家に販売した。

問題 03-45　IP230220　□□□□

コンピュータソフトウェアを使った新しいビジネスの方法に関して習得できる知的財産権として､適切なものはどれか。

ア　意匠権　　イ　実用新案権　　ウ　商標権　　エ　特許権

問題 03-46　IP230227　□□□□

不正アクセス禁止法に関する記述のうち、正しいものはどれか。

ア　アクセスコントロール機能を有する個人使用の PC に対してイントラネット経由で不正にアクセスしても、不正アクセス禁止法違反にはならない。
イ　実際に被害が発生しなくても、不正アクセス行為をするだけで不正アクセス禁止法違反となる。
ウ　他人の ID とパスワードを、その利用方法を知っている第三者に教えるだけでは、不正アクセス禁止法違反にはならない。
エ　不正アクセス禁止法違反となるのは、インターネット経由でアクセスされるものに限られる。

問題 03-47　IP230228　□□□□

プロバイダ責任制限法によって、プロバイダの対応責任の根拠となりうる事例はどれか。

ア　書き込みサイトへの個人を誹謗中傷する内容の投稿
イ　ハッカーによるコンピュータへの不正アクセス
ウ　不特定多数の個人への宣伝用の電子メールの送信
エ　本人に通知した目的の範囲外での個人情報の利用

問題 03-48　IP230230　□□□□

民法では、請負契約における注文者と請負人の義務が定められている。記述 a～c のうち、民法の請負人の義務となるものだけを全て挙げたものはどれか。

a　請け負った仕事の欠陥に対し、期間を限って責任を負う。
b　請け負った仕事を完成する。
c　請け負った全ての仕事を自らの手で行う。

ア　a　　イ　a, b　　ウ　a, b, c　　エ　a, c

問題 03-49　IP240104　□□□□

不正アクセス行為の禁止等に関する法律で禁止されている行為はどれか。

ア　OS などに存在するセキュリティ上の弱点を電気通信回線を通じて攻撃してコンピュータを不正利用する行為
イ　営業秘密や営業上のノウハウの盗用などの不正行為
ウ　他人を誹謗中傷する内容をホームページや掲示板などへ掲載する行為
エ　本人に対して個人情報の利用目的を隠し、不正な手段で修得する行為

問題 03-50　IP240109　□□□□

X 社の要員を A 社に駐在させ、A 社のプロジェクトリーダの指示の下でヘルプデスク業務を行っている。このとき A 社が X 社と取り交わす契約書として適切なものはどれか。

ア　請負契約書　　イ　雇用契約書
ウ　売買契約書　　エ　労働者派遣契約書

問題 03-51　IP240111　□□□□

著作権に断ることなく、コピーや改変を自由に行うことのできる無料のソフトウェアはどれか。

ア　シェアウェア　　イ　パッケージソフトウェア
ウ　パブリックドメインソフトウェア　　エ　ユーティリティソフトウェア

問題 03-52　IP240113　□□□□

住民基本台帳ネットワークシステム構築の目的として挙げられているものはどれか。

ア　国民の納税情報を管理する。
イ　住民サービスの向上と行政事務の効率向上を図る。
ウ　住民の個人情報を保護する。
エ　民間への住民情報の公開を促進する。

問題 03-53　IP240116　□□□□

著作権法の保護の対象となるものはどれか。

ア　通信規約　　イ　パソコン本体の色や形状
ウ　パソコンの取扱説明書　　エ　プログラム言語

問題 03-54　IP240129　□□□□

知的財産権のうち、特許庁が定める産業財産権に属さない権利はどれか。

ア　意匠権　　イ　商標権　　ウ　著作権　　エ　特許権

問題 03-55　IP240201　□□□□

営業秘密を保護する法律はどれか。

ア　独占禁止法　　イ　特定商取引法
ウ　不正アクセス禁止法　　エ　不正競争防止法

問題 03-56　IP240209　□□□□

インターネットを利用した企業広告に関する新たなビジネスモデルを考案し、コンピュータシステムとして実現した。この考案したビジネスモデルを知的財産として、法的に保護するものはどれか。

ア　意匠法　　イ　商標法　　ウ　著作権法　　エ　特許法

問題 03-57　IP240220　□□□□

個人情報を他社に渡した事例のうち、個人情報保護法において、本人の同意が必要なものはどれか。

ア　親会社の新製品を案内するのに、顧客情報を親会社へ渡した。
イ　顧客リストの作成が必要になり、その作業を委託するために、顧客情報をデータ入力会社へ渡した。
ウ　身体に危害を及ぼすリコール対象製品を回収するために、顧客情報をメーカへ渡した。
エ　請求書の配送業務を委託するために、顧客情報を配送業者へ渡した。

問題 03-58　IP240224　□□□□

ソフトウェアの開発を外部ベンダに委託する。委託契約において特段の取り決めがない場合、このソフトウェアの知的財産としての権利の帰属を規定している法律はどれか。

ア　下請法　　イ　著作権法
ウ　不正競争防止法　　エ　民放

問題 03-59　IP240230　□□□□

e-TAX など行政への電子申請の際に、本人証明のために公的個人認証サービスを利用することができる。このサービスを利用する際に使用できるものはどれか。

ア　印鑑登録カード　　イ　クレジットカード
ウ　住民基本台帳カード　　エ　パスポート